

平成31年度 安田中学校 学校経営の基本方針

阿賀野市立安田中学校長 田澤 充哉

教育は人格の完成を目指して行われる。そして、生徒一人一人の育成を知・徳・体の側面から図っていかねばならない。確かな学力、豊かな心、健やかな体に支えられた生徒の「生きる力」を育むため、学校教育の充実を図っていく。また、将来を主体的に生きていく人づくりのために、教育水準の向上と「地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり」に努める。

教育目標	すすんで学習に取り組む生徒 思いやりのある心豊かな生徒 けじめをつけて生活出来る生徒
-------------	---

1 目指す学校像

みんなが「安田中学校で良かった」と思える学校に

- (1) 生徒にとって、「安心して登校でき、楽しく学べる学校」
- (2) 保護者や地域にとって「安心して子どもを任せ、協力し支援したくなる学校」
- (3) 職員にとって「仕事にやりがいをもち、自分を高めることができる学校」

2 目指す生徒像

- (1) 思いやりがあり、自他の良さを認め、正しく行動できる生徒
- (2) あきらめずに、意欲をもって自ら学び、他との関わりの中で自分の考えを表現できる生徒
- (3) 健康に関心をもち、進んで健康・体力づくりに取り組む生徒

3 学校課題

- | | |
|--------------------|--------------|
| (1) 自己肯定感・自己有用感の向上 | (2) 確かな学力の向上 |
|--------------------|--------------|

4 経営の基本

○「夢をもち粘り強く挑戦する」

すべての生徒が、将来の夢や目標をもち、その実現に向けて前向きに挑戦できるように全職員で支援する。

○「率先垂範」そして「チーム安田」

「褒める」「認める」を基本に、教師自らが手本になって生徒の教育にあたる。生徒の成長を共に喜び、情熱をもって常に学び合える職員集団として力を発揮していく。

5 目指す教師像・職員集団像

○均一な一枚岩でなく個々の能力と特性をいかした

「チーム安田」(チーム学校)ができる教師集団

○保護者だけの責任にしない、保護者と一緒に生徒を育てる教師集団

○入念な事前指導によって、「満足な結果」を味わわせる

生徒を大いに褒めて認めることができる教師

○「セリフ」と「トーン」と「顔の表情」を工夫して伝える教師

○特別支援学級、特別な支援が必要な生徒に対して丁寧に指導する教師

○治療に全力を尽くしながらも「町医者のな手当や連携」ができる教師

○笑顔が素敵で自分が変わったときは生徒に「ごめんなさい」が言える教師

○非違行為を絶対にしない、させない、許さない教師集団

6 重点的実践事項

(1) 学習指導の充実

- ・「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりと授業改善を推進し、全ての生徒に「学ぶ楽しさ・分かる喜び」を感得させる。
- ・学力調査やweb配信集計システム等を有効活用した分析と全校体制での実効性のある対策と共通実践により、基礎基本の習得及び生徒の前向きな意欲の醸成を図る。
- ・ホワイトボードやICTを有効活用し、言語活動の充実を図る。
- ・終学活時の学習計画の確認や取組の推進、校区内小学校や家庭との連携により学習習慣の確立を図る。
- ・学ぶ意欲を高めるために、キャリア教育を推進する。

(2) 特別活動の充実

- ・全校統一での話し合い活動や係活動を通して、自分の意見を持ちつつ、相手を尊重し互いに学び合い、高め合う風土をつくり自己肯定感・自己有用感の育成を図る。

(3) 心の教育の充実

- ・「特別の教科 道徳」においては、指導方法の工夫により「考え、議論する道徳」を推進し、道徳的な課題を自分事として考えさせながら規範意識を育む。
- ・異学年、小中、地域等との多様な交流活動により思いやりの心や畏敬の念を育てる。
- ・「生きる」等を計画的に活用し、同和教育を中核とした人権教育を推進する。
- ・「いじめ見逃しゼロスクール」を推進するとともに、「安田中学校いじめ防止基本方針」を着実に実施し、生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見・即時対応を進める。

(4) 健康な心身の育成

- ・保健学習と保健指導の指導内容の充実を図り、自ら健康に関心をもち、安全に留意し、より良い生活を送ろうとする能力や体力の育成を図る。
- ・家庭や地域と連携しながら、健康の保持増進と体力の向上、生活習慣の改善を図り、心身の調和のとれた生徒の育成を図る。

(5) 特別支援教育の充実

- ・校内特別支援教育委員会を中核とした全校体制による特別支援教育を推進する。
- ・個々の教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、全教育活動を通じ、着実に実施する。
- ・交流及び共同学習を推進するとともに、医療・福祉等専門機関との連携を強化し支援を進める。

(6) 地域、保護者と連携した教育活動の展開

- ・地域への愛着と誇りを育てる体験活動を実施、充実する。
- ・1小1中を生かした小中連携による系統性のある教育課程を編成する。
- ・保護者に対しては、「共に子どもたちを育てる」「共に学校をつくる」をスローガンに活動を推進し、信頼関係を築く。
- ・地域に対しては、積極的に情報を開示するとともに、「地域の資源活用」と「学校の資源提供」の二つの視点を両立させる。
- ・コミュニティ・スクール推進準備校としての取組を推進する。

(7) 学校管理

- ・危機管理の意識を高め、個人情報及び施設設備の管理においてチェックを徹底する。

(8) 教師の資質向上

- ・授業力や生徒指導力等の教師の資質・能力向上のため、外部講師を招聘しての校内研修や校外研修への職員派遣を実施し、職員研修を充実させる。
- ・教育公務員としての使命とその職責を自覚させ、法令遵守・服務規律の徹底を図る。

(9) 教職員の働き方改革

- ・職員の意識改革を進め、業務の精選による適正な勤務時間を管理する。
- ・「チーム学校」としての組織力を高める。(部活動指導員・外部指導者の活用、SC・SSwや専門機関、医療機関との連携等)
- ・全職員による明るい職場づくりを進める。